

施策番号	3420		
施策名	公共事業の再評価		
概要	公共事業の効率化・重点化と実施過程の透明化を図るため、事業着手後一定期間を経過したものを中心に、第三者機関による再評価を行い、必要な見直しを行う。		
担当局	建設局	共管局	なし
上位政策	340 市民とともに政策を評価して市政運営に生かす		

施策の評価

1 客観指標評価

		17年度	18年度	19年度評価				
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価
1	再評価を行った総事業数のうち、完了した総事業数の割合 (%)	b	a	20.0%	25.0%	20.0%	125.0%	a
2	(準) 情報公開度 (監理検査課HPアクセス件数) (件)	a	c	9691件	9658件	10660件	90.9%	d
3	(準) 公共事業評価委員会に傍聴にこられた人数 (人)	-	-	8	8	12	66.7%	c
4	-	-	-	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-	-	-	-
9	-	-	-	-	-	-	-	-
10	-	-	-	-	-	-	-	-
		a	b	客観指標総合評価				b

2 市民生活実感評価

設問	公共事業の再評価によって事業の点検がしっかりできている。					
回答	17		18		19	
	回答者数	回答率	回答者数	回答率	回答者数	回答率
a: そう思う	7	1.5%	8	1.8%	5	1.2%
b: どちらかというと思う	55	12.0%	59	12.9%	42	9.8%
c: どちらとも言えない	215	46.7%	212	46.5%	198	46.4%
d: どちらかというと思わない	101	22.0%	107	23.5%	100	23.4%
e: そう思わない	82	17.8%	70	15.4%	82	19.2%
有効回答数	460		456		427	
市民生活実感評価	d		d		d	



* この評価は、毎年5月頃を実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

3 総合評価（客観指標総合評価＋市民生活実感評価）

	17	18	19
客観指標総合評価	a	b	b
市民生活実感評価	d	d	d
総合評価	B	B	C
重み付け		(理由)	
☒ 客観指標	☐ 市民の実感	公共事業の再評価という対象者が限られた施策であり，市民の生活実感に施策の効果がすぐ反映されにくい性質があるため，客観指標総合評価を重視する。	

4 原因分析・今後の方向性

総合評価は昨年度のB評価から下がりC評価となった。客観指標総合評価については，昨年度に引き続きb評価，市民の生活実感についても，昨年度に引き続きd評価となっている。

客観指標評価の「再評価を行った総事業数のうち，完了した総事業数の割合」は昨年度に引き続きa評価となっているものの，「（準）情報公開度」の評価がc評価からd評価に下がっているが，数値は昨年度とさほど差はなく，情報公開についても引き続き推進できている。

今後，総合評価を向上させるためには，市民の生活実感評価を上げる必要があり，公共事業の再評価について広く市民に周知する必要がある。

（参考）この施策実現のための主な事務事業

	事業名	18年度予算 (千円)*	19年度予算 (千円)*	18年度事務事業評価に おける今後の方向性	担当部・課
1	公共事業評価	31,010	31,010	現状のまま継続等	建設局管理部監理 検査課
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
合計		31,010	31,010		
うち，主たる事業の合計 (従たる事業の合計)		31,010 (0)	31,010 (0)		

* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含む

施策名	3420	公共事業の再評価				
-----	------	----------	--	--	--	--

指標名	再評価を行った総事業数のうち、完了した総事業数の割合（％）					
-----	-------------------------------	--	--	--	--	--

担当課	建設企画課	連絡先	2 2 2－3 5 5 1		
-----	-------	-----	---------------	--	--

1 指標の説明

事業が長期化し、再評価を行った総事業数のうち、休止、中止も含めて完了した総事業数の割合

2 指標の意味

再評価を実施した事業がどれだけ完了したかを示す指標

3 算出方法・出典等

完了事業総件数÷再評価開始年度からの評価事業総件数×100

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		達成度
	17年度	18年度		数値	根拠	
数値	20.0%	25.0%	1ポイントの減	20.0%	過去の最高値	125.0%

	全国順位	中長期目標			根拠	備考
		数値	目標年次	達成度		
数値	-	-	-	-	-	-

5 評価基準

最新数値が
a：目標値以上（20%以上）
b：目標値未満（15～20%未満）
c：目標値未満（10～15%未満）
d：目標値未満（5～10%未満）
e：目標値未満（5%未満）

6 基準説明

再評価を実施した全ての公共事業のうち、どれだけ割合の事業が必要に応じた見直し等により完了、中止、休止となったかを、過去の数値の最高値以上をa、同水準をcとし、最低値も含めた按分で基準を設定した。
最高値 20%（平成17年度）
平均値 14%
最低値 3%（平成11年度）

7 評価結果

17	18	19
b	a	a

指標名	（準）情報公開度（監理検査課HPアクセス件数）（件）					
-----	----------------------------	--	--	--	--	--

担当課	建設企画課	連絡先	2 2 2－3 5 5 1		
-----	-------	-----	---------------	--	--

1 指標の説明

公開した情報がどれだけの人に伝達されたかを表すアウトカム指標として、「HPアクセス件数」の合計

2 指標の意味

公共事業評価の透明度を示す指標

3 算出方法・出典等

平成17年度事業担当課HPアクセス件数

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		達成度
	17年度	18年度		数値	根拠	
数値	9691件	9658件	33件減	10660件	前年度の実績を10%上回ることを目標に設定した	90.9%

	全国順位	中長期目標			根拠	備考
		数値	目標年次	達成度		
数値	-	-	-	-	-	-

5 評価基準

単年度目標値に対する達成度が
a：120%以上
b：110%以上120%未満
c：100%以上110%未満
d：90%以上100%未満
e：90%未満

6 基準説明

目標達成には相当の努力を要するものの上回ることは不可能ではないため、120%以上の達成率をaとして10%刻みで設定した。

7 評価結果

17	18	19
a	c	d

施策名	3420	公共事業の再評価				
指標名	(準) 公共事業評価委員会に傍聴にこられた人数 (人)					
担当課	建設企画課		連絡先	2 2 2 - 3 5 5 1		
1 指標の説明						
評価の審議課程の透明度をあらわす指標						
2 指標の意味						
公共事業評価の透明度を示す指標			3 算出方法・出典等			
			公共事業評価委員会に傍聴にこられた人数の年間合計数			
4 数値						
	前回数値 17年度	最新数値 18年度	推移	目標値		
				数値	根拠	達成度
数値	8	8	昨年度と同数	12	年間傍聴者数の合計人数12人を目標値とする。	66.7%
	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値	-	-	-	-	-	
5 評価基準						
公共事業評価委員会に傍聴にこられた人数 a：12人以上 b：10人以上12人未満 c：8人以上10人未満 d：6人以上8人未満 e：6人未満			6 基準説明			
			目標達成には、委員会開催を広く周知する必要がある。 平均傍聴者数 8人 最高値 10人 最低値 6人			
7 評価結果						
17		18		19		
-		-		C		